

2022年3月22日

公益財団法人日本バレーボール協会 会長、事務局長など選定について

公益財団法人日本バレーボール協会(JVA)は3月22日(火)、東京都内にて2021年度第11回理事会(臨時)を開き、同日付で会長に川合俊一(59)、事務局長に村上成司(57)が選定されました。なお、1月13日(木)より会長代行を務めてまいりました河本宏子(65)は副会長(理事)となります。

記

◆公益財団法人日本バレーボール協会 会長、副会長、事務局長(3月22日付) ※新任のみ

氏名	JVAでの現職	新役職
かわい しゅんいち 川合 俊一	—	会長(代表理事)
かわもと ひろこ 河本 宏子	会長代行(代表理事)	副会長(理事)
むらかみ せいじ 村上 成司	業務執行理事 事務局長代行 大会運営事業本部本部長	業務執行理事 事務局長 大会運営事業本部本部長

◆川合俊一会長 プロフィール

氏名(ふりがな)	川合 俊一 (かわい しゅんいち)
出身地	新潟県西頸城郡青海町(現:糸魚川市)
生年月日	1963年2月3日(59歳)
最終学歴	日本体育大学 卒業
略歴	1985年4月 富士フィルム 入団 1984年 ロサンゼルスオリンピック出場 7位 1988年 ソウルオリンピック出場 10位 1990年3月 富士フィルム 退団 2015年7月 トヨタ自動車ビーチバレーボール部ジェネラルマネージャー兼監督
団体役職歴	2007年4月～ 一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟 会長 2014年6月～2017年6月 公益財団法人日本バレーボール協会 評議員 2017年6月～2019年6月 公益財団法人日本バレーボール協会 理事

◆川合俊一会長 コメント

日本バレーボール協会の将来が懸かる極めて重要なタイミングで声をかけていただき、これ以上なく、身の引き締まる思いがしている。不転の覚悟を持って、協会を立て直すべく、職務にあたって参りたい。

会長就任にあたり、次の3つを注力すべき軸と考えている。

一つ目はガバナンスの高度化。法令遵守体制と内部統制体制の確立は、自身の企業経験も踏まえ、組織維持に最も重要な要素で、現在のJVAにいちばん必要とされている要素である。暫定体制時に検討されたガバナンス高度化計画をベースに、透明性の高い開かれた団体を目指す。

続いて国際交渉力の強化。国際バレーボール連盟、アジアバレーボール連盟といった国際上位団体との連携を高め発言力を上げることは、大会誘致など競技の普及においても好影響をもたらす、国民の皆さまにより高レベルな競技を楽しんでいただくことにも繋がる。外部人材の登用も視野に入れつつ、国際バレーボール界におけるJVAのプレゼンス向上に努める。

最後に発信力の強化。バレーボールとビーチバレーボールの競技経験を生かし、競技の魅力をより広く、より深くアピールすることに注力したい。バレーボールならびにビーチバレーボールに対する共感者、伴走者を得ることで、JVAの財務基盤の強化に限らず、競技人口やバレーボール・ビーチバレーボール関心層の拡大を図る。

以上をもって、JVAが国民の皆さまに信頼いただける競技団体となり、バレーボールならびにビーチバレーボールを活力・心の拠りどころとしていただけるよう、理事、職員はもとより、JVAを支えてくださっている加盟団体をはじめとする関係者の皆さまと連動して参りたい。

[全2枚]

【お問い合わせ先】 press@jva.or.jp 広報部